

市立尼崎高等学校

体育科カリキュラムの見直しを行っています

市立尼崎高等学校体育科では、生徒が、スポーツへの関心をさらに高め、スポーツを楽しみ、そして、今後、あらゆるスポーツの分野で活躍し、社会を支え、さらに、スポーツという文化を次世代に引き継ぐことができるような人材育成を目指す観点から、現在、**体育科カリキュラムの見直し**の検討を進めています。

<新カリキュラムの視点>

- ・ スポーツを文化的、社会的視点で学ぶ
- ・ 様々なスポーツの特性を学ぶ
- ・ スポーツを科学的視点で学ぶ
- ・ スポーツの理論と実践を融合する

※進路指導方針

3年度の進路選択に向けて、1年次から、個別面談を実施して、生徒の将来の進路指導を行っています。

<体育科専門科目のイメージ>

※現在検討中ですので、科目名称・扱う内容については変更の可能性があります。

1. スポーツ健康科学論

- ① スポーツ科学(運動生理学・栄養学・コーチング論・心理学など)
- ② バイオメカニクス(生体力学・動作分析など)
- ③ 情報技術(データ収集・分析・解析 など)

2. 体育実技

- ① 採点・測定競技(陸上・水泳・体操)
- ② 球技(サッカー・バレーボール・ソフトテニス・バスケットボール・ソフトボール)
- ③ 柔道(男子)
- ④ ダンス(女子)
- ⑤ コンディショニング実践

3. 野外活動(校外実習)

- 第1学年 キャンプ実習
第2学年 スキー実習
第3学年 海洋実習

4. 卒業論文

第3学年2学期には、3年間の学習の集大成として、卒業論文の作成を行い、保護者を含めた関係者の前で、公開での発表を行う予定です。

<地域に開かれた学校づくり>

市立尼崎高等学校を地域スポーツの拠点として、地域とともにあることを念頭に置き、体育科生徒が中心となり、「総合的な探求の時間」や放課後等の時間を活用して地域との交流を積極的に行い、生徒一人ひとりのコンピテンシーを磨き、豊かな感性を育むことを目的に地域に開かれた学校づくりを目指していきます。

【取組イメージ】

- ・ 体育施設を地域に開放するとともに、市尼生徒が指導役となり、高齢者の健康・体力づくりや子どもがスポーツに触れる機会を提供する。
- ・ ボランティア活動を積極的に行い、他者を思いやる行動を通じて社会性や公共性を育てる。
- ・ 教育関係者・市民・保護者などを対象に、トップアスリートやスポーツ関連企業の経営者などによる公開講座を開催し、教育・スポーツ・健康などについての情報の発信拠点とする。

<新カリキュラム適用時期>

令和3年度から適用予定